



個人投資家の皆さんへ
マックス株式会社 説明会
～ニッチトップの成長戦略～

2025年12月

マックス株式会社 証券コード 6454(東証プライム市場)
<https://www.max-ltd.co.jp/>

登壇者紹介



角 芳尋(かく よしひろ)

岐阜県出身

- ◆ 1985年 当社入社
- ◆ 2011年 同経営企画室長
- ◆ 2012年 同執行役員経営企画室長
- ◆ 2013年 同取締役執行役員営業本部海外営業部長
- ◆ 2021年 同取締役上席執行役員営業本部オフィス機器セグメント担当兼販売統括部長
- ◆ 2021年 同取締役上席執行役員経営企画室長兼IR広報・ESG推進、内部監査、人事、システム統括担当
- ◆ 2022年 同常務取締役上席執行役員経営企画室長兼IR広報・ESG推進、内部監査、人事、システム統括担当
- ◆ 2023年 同専務取締役上席執行役員経営企画室長兼IR広報・ESG推進、人事、システム統括担当
- ◆ 2024年 (現)同専務取締役上席執行役員コーポレート本部長兼経営企画室長

マックスといえば…？

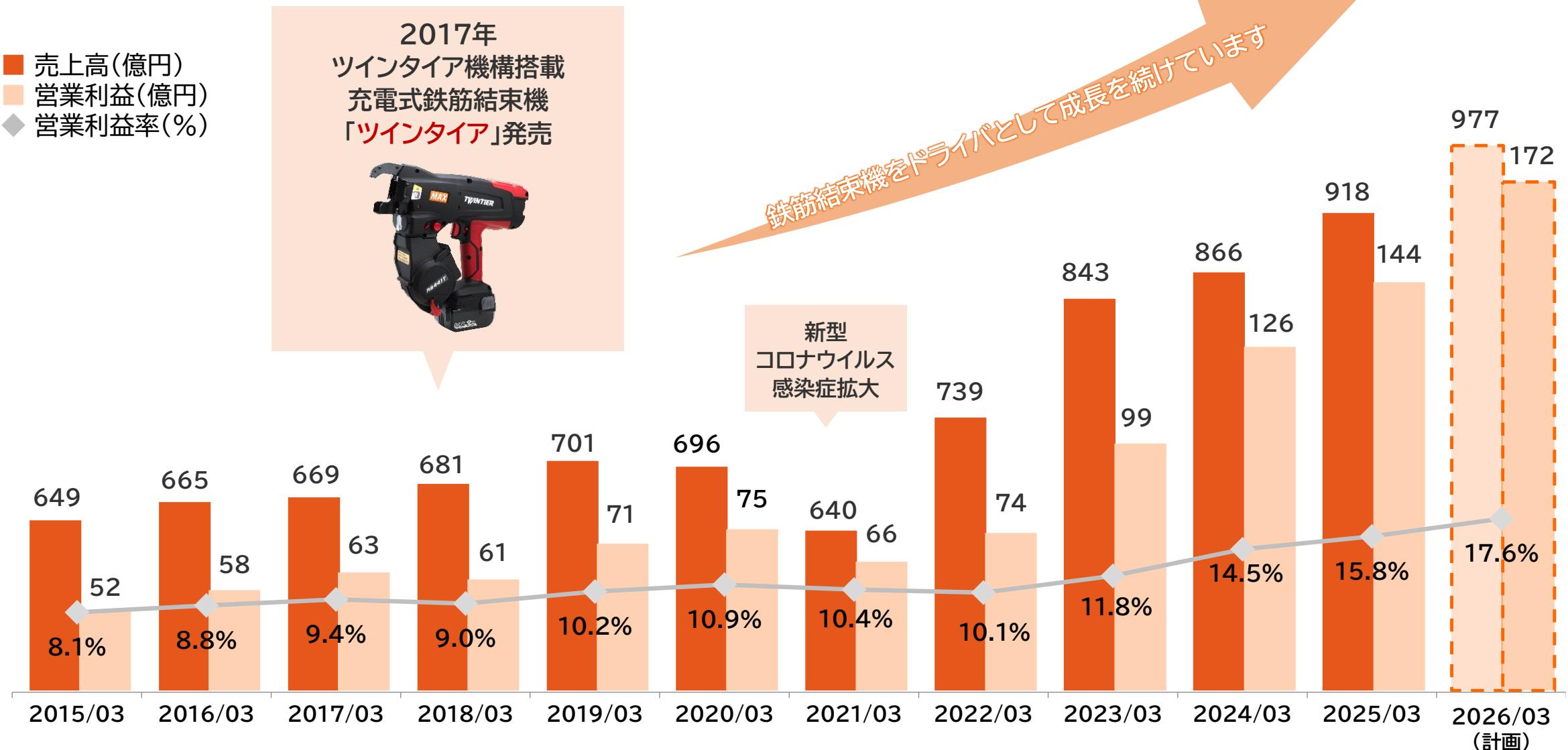


マックスといえば…？



全社実績推移

- 売上高(億円)
- 営業利益(億円)
- ◆ 営業利益率(%)



アジェンダ

1. マックスについて
2. 成長の原動力 = “鉄筋結束機事業”
3. 中期経営計画
4. 2026年3月期上期(中間期)実績と2026年3月期業績見通し
5. 株主還元
6. サステナビリティの取り組み

1. マックスについて

基本的な考え方

マックスは、「人」が尊重され、「人」が成長することにより、会社も成長すると考えます。



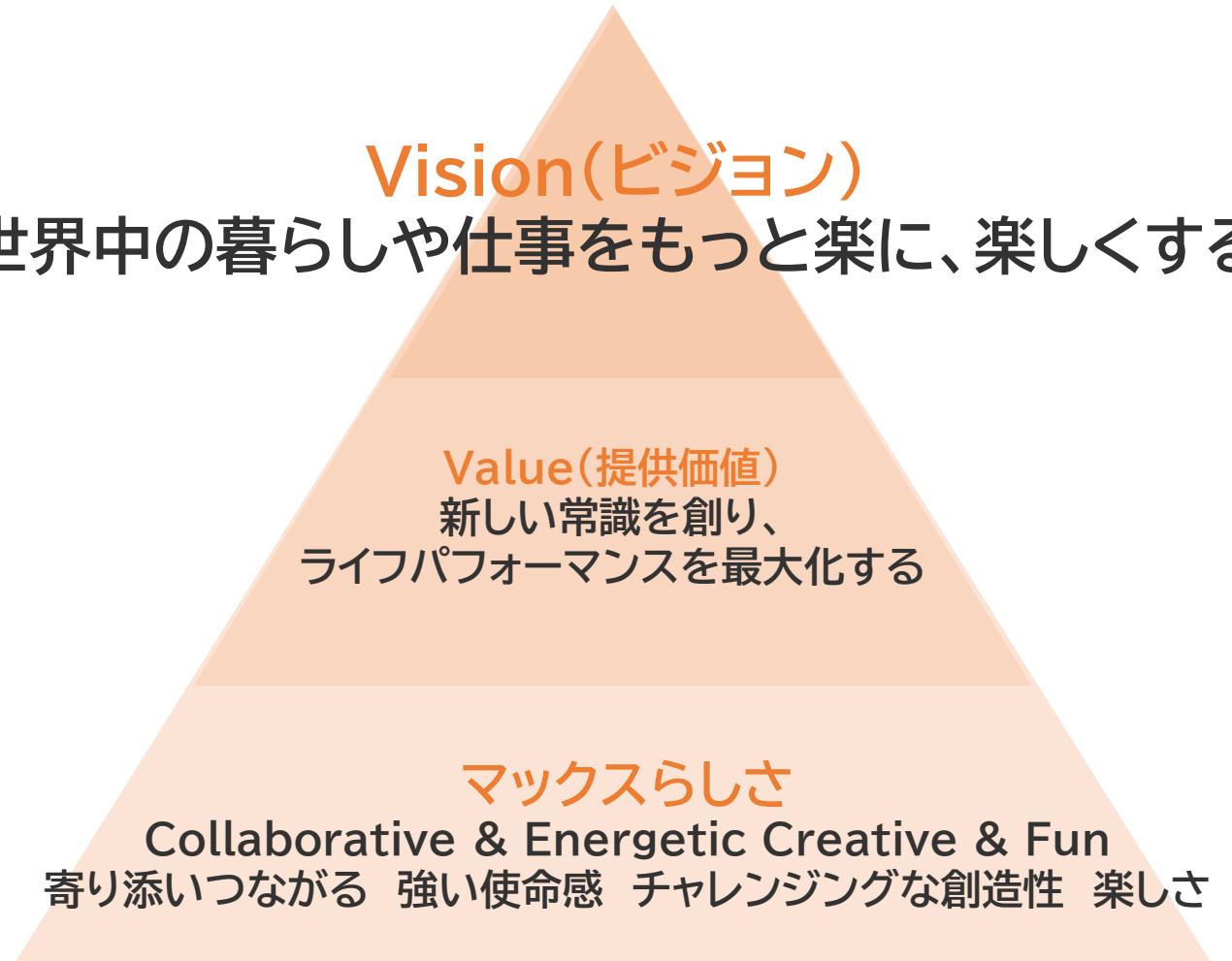
すべての
基本は「人」



本業での
利益を重視した
堅実な成長の
実現



成果の
公正な分配



コーポレートスローガン



「Engineered for Performance」は、当社が社会に
価値ある「新しい当たり前」をマックスの顧客視点・技術力で
生み出し続け、お客様の作業パフォーマンスの最大化だけ
なく、それによって生まれた時間や心の余裕によって、使う
人自身の人生の可能性の最大化を目指す、というお客様
へのお約束です。

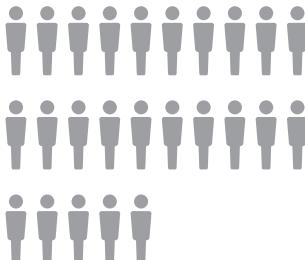
数字で見るマックス

創立年月日



連結従業員数

2,466人



連結売上高

918億円

連結営業利益

144億円



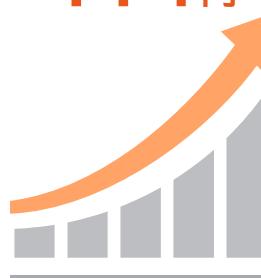
ROE

10.9%



1株あたり配当金

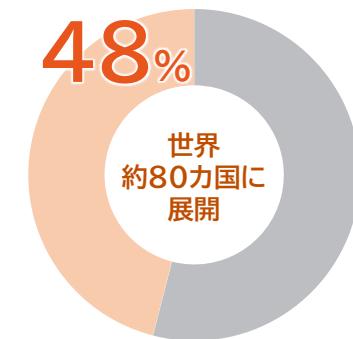
114円



海外売上高比率

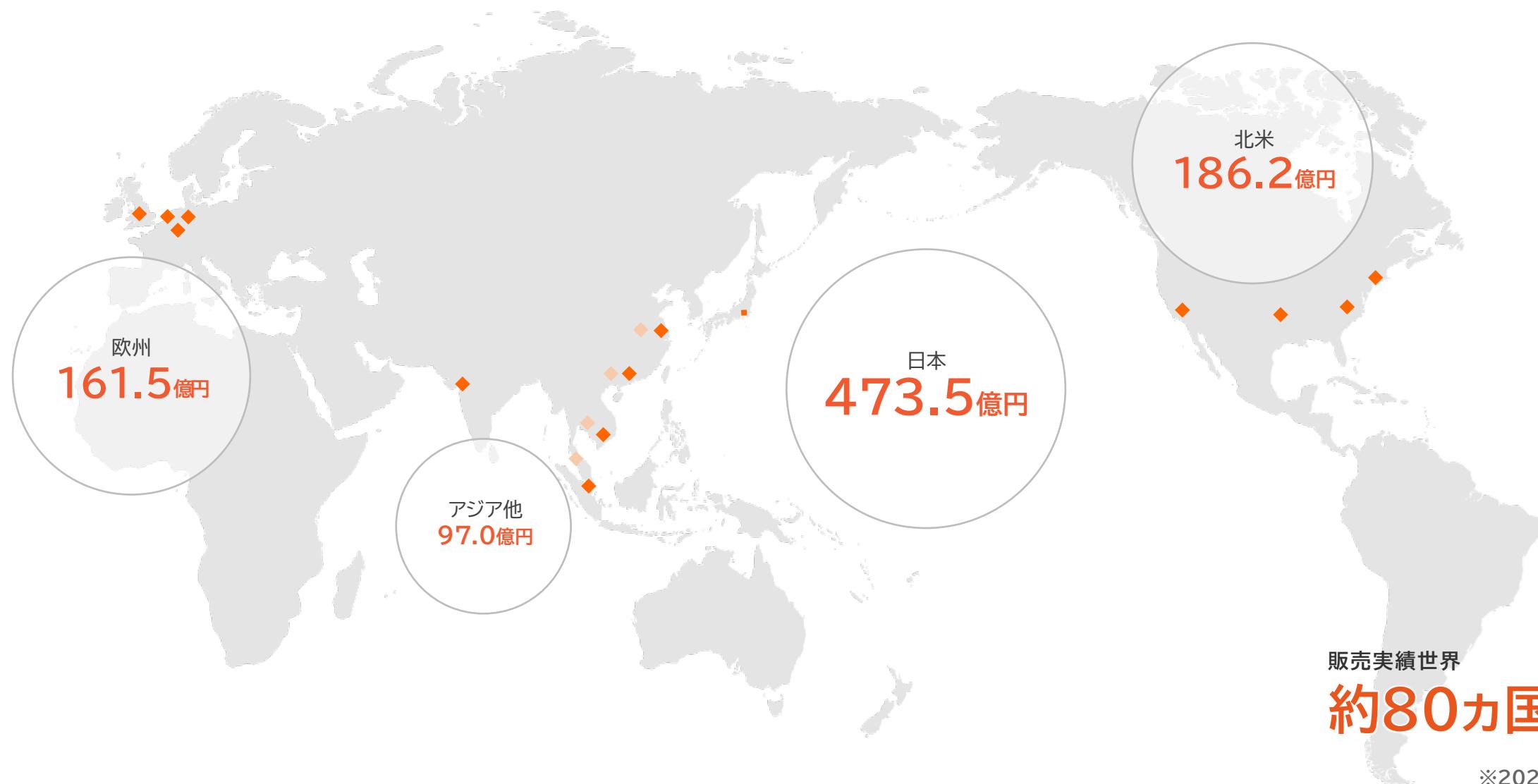
48%

世界
約80カ国に
展開



※2025年3月期

グローバル展開・地域別売上高



マックスの特長

1 多様な事業構成

事業ポートフォリオに関する判断基準

- ・1つの産業に依存しない事業構成
- ・長期にわたって安定した収益が期待できる事業
- ・社内資源が有効に活用できる事業

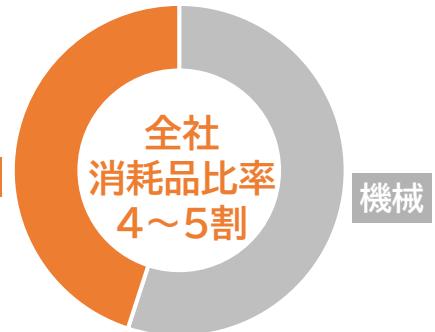


2 ユニークなビジネスモデル

- ・ニッチな市場で競争優位性を創出
- ・消耗品供給を軸とした顧客と持続的につながるビジネスモデル



消耗品



3 安定した収益基盤

利益配分に関する基本方針

- ・事業活動による利益を持続的な成長により拡大し、長期安定的に利益配分を行うこと



4 徹底した三現主義

現場の事実を追求することによる世の中にはない製品の創出・普及



100億円規模のニッチ市場にユニークな製品を展開

- マックスは、100億円規模のニッチ(隙間)市場にユニークな製品を展開し、多くのトップシェア、世界初、国産初の製品を送り出しています。

国内トップシェア製品

ホッチキス ※1



電気式浴室暖房・換気・乾燥機 ※2



世界初の製品

テープナー



充電式鉄筋結束機



国産初の製品

ハンディホッチキス



エアネイラ



ガスネイラ



※1.株式会社矢野経済研究所調べ

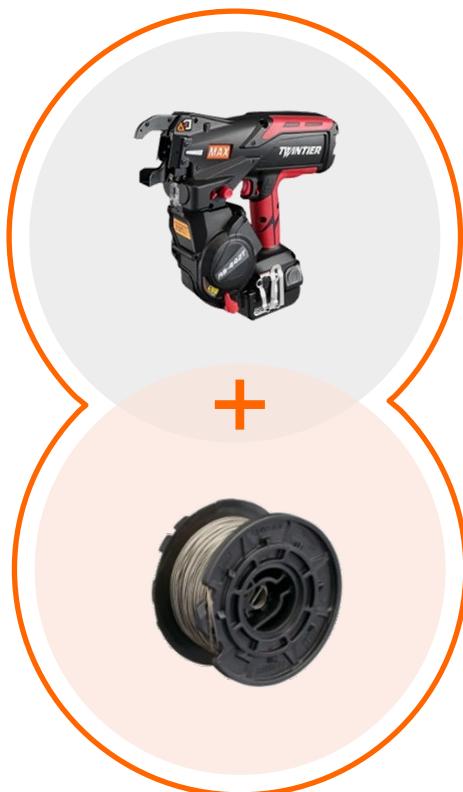
(2024年版 文具・事務用品マーケティング総覧 国内ステープラ市場シェア)

※2.株式会社富士経済調べ(住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧2024

電気式浴室暖房乾燥機市場メーカー・シェア(2023年度実績))

消耗品が付随した製品

- マックスは、「ホッチキス+針」、「釘打機+釘」のように消耗品が付随した製品が多くあります。
- 日常的に使用していただくことで、安定的な売上・収益、健全な財務体質につながっています。



事業領域

インダストリアル機器部門

機工品事業

■ 木造建築物向け工具

釘打機と
動力源の
コンプレッサ



■ コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



ガスネイラ

住環境機器事業

■ 住宅設備機器

浴室暖房・換気・
乾燥機「ドライファン」



2000年
買収

AF(農業・食品)事業

■ 農業・食品包装機器



誘引結束機

袋とじ機



オフィス機器部門

オフィス機器事業

■ 文具関連製品



■ 文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーク
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



オーステープラ事業

■ 複合機内蔵用電動ホッチキス



HCR機器部門

HCR事業

■ 介護・福祉機器

機能性車いす「ウェイビットルー」



多機能車いす「モダンシリーズ」



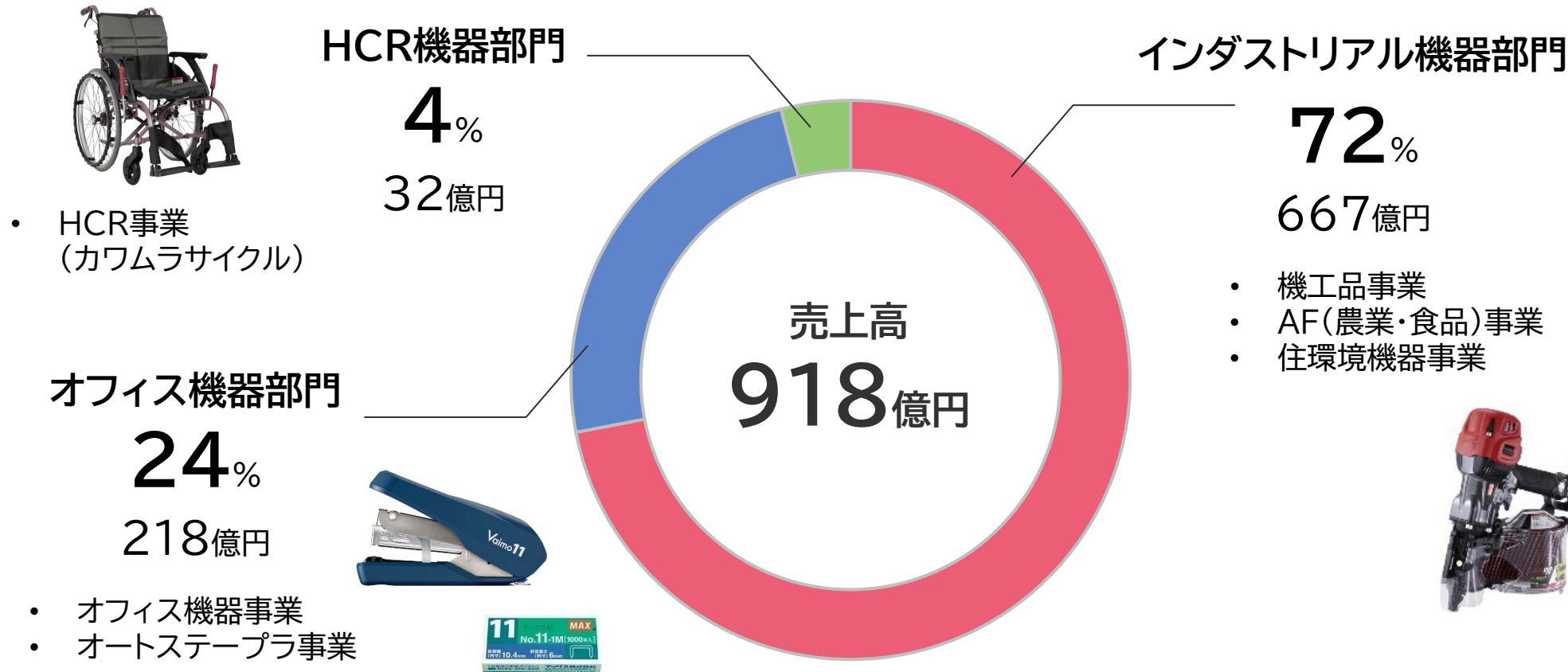
軽量車いす「ふわりす」



2010年
買収

セグメント・事業について

- 現在オフィス機器部門、インダストリアル機器部門、HCR機器部門の3セグメント、6つの事業で構成しています。
- 2025年3月期の全社売上高は918億円でした。



(2025年3月期実績)

2.成長の原動力＝“鉄筋結束機事業”

主力収益事業の変遷



国内トップシェア

※1
釘打機 / エアコンプレッサ
釘・ねじ



国内トップシェア

※2
ホッチキス
ホッチキス針



※1.当社調べ(釘・ねじ除く)

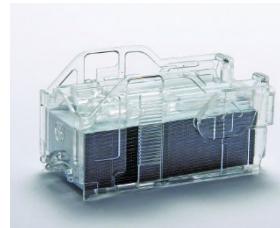
※2.株式会社矢野経済研究所調べ

(2024年版 文具・事務用品マーケティング総覧 国内ステープラ市場シェア)

※3.当社調べ

世界シェア9割以上

※3
複合機内蔵用電動ホッチキス
専用ホッチキス針



成長の原動力

オリジナルメーカー

鉄筋結束機
「タイワイヤ」



鉄筋結束とは

- 鉄筋は、高速道路や橋、ビル・マンションなどの骨組みとして使われています。
- 鉄筋コンクリート造の建物を建てる際、鉄筋の位置を固定するために鉄筋と鉄筋の交点をワイヤで縛る“結束”という作業を行ってから、コンクリートを流し込みます。

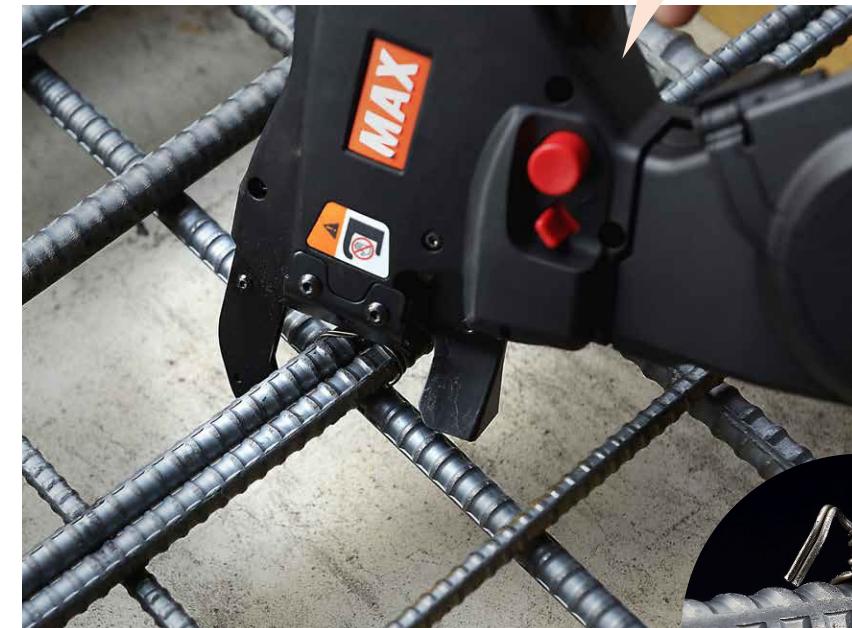


鉄筋結束機とは

ハッカーでの手作業
熟練の技術が必要



「ツインタイア」による作業
機械化による均一化



1結束あたり約0.5秒
※RB-442T使用の場合

世界初の充電式鉄筋結束機の発売から30年

—少しでも働きやすい現場を—

そんな想いからマックスは1993年に世界初の充電式鉄筋結束機を発売。

以来、改良を重ね、2017年に発売した「ツインタイア」は、手作業が多かった結束の現場を大きく変えました。

リバータイア(シングルワイヤ)

1993年
世界初
充電式鉄筋結束機 発売

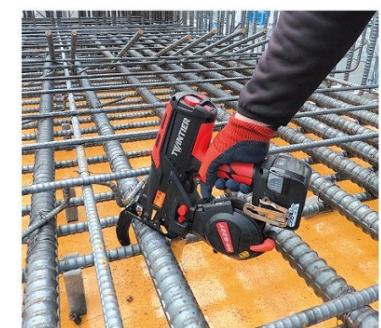


結束スピード 1.5倍
結束力 1.5倍

2017年
ツインタイア発売



2025年
ツインタイア
特大径モデル



鉄筋結束機事業の売上高推移

コンクリート構造物向け工具の実績は、2018年3月期の「ツインタイア」発売を契機として伸長を継続。
2017年3月期の88億円から約4倍の事業規模に成長。

(単位:億円)

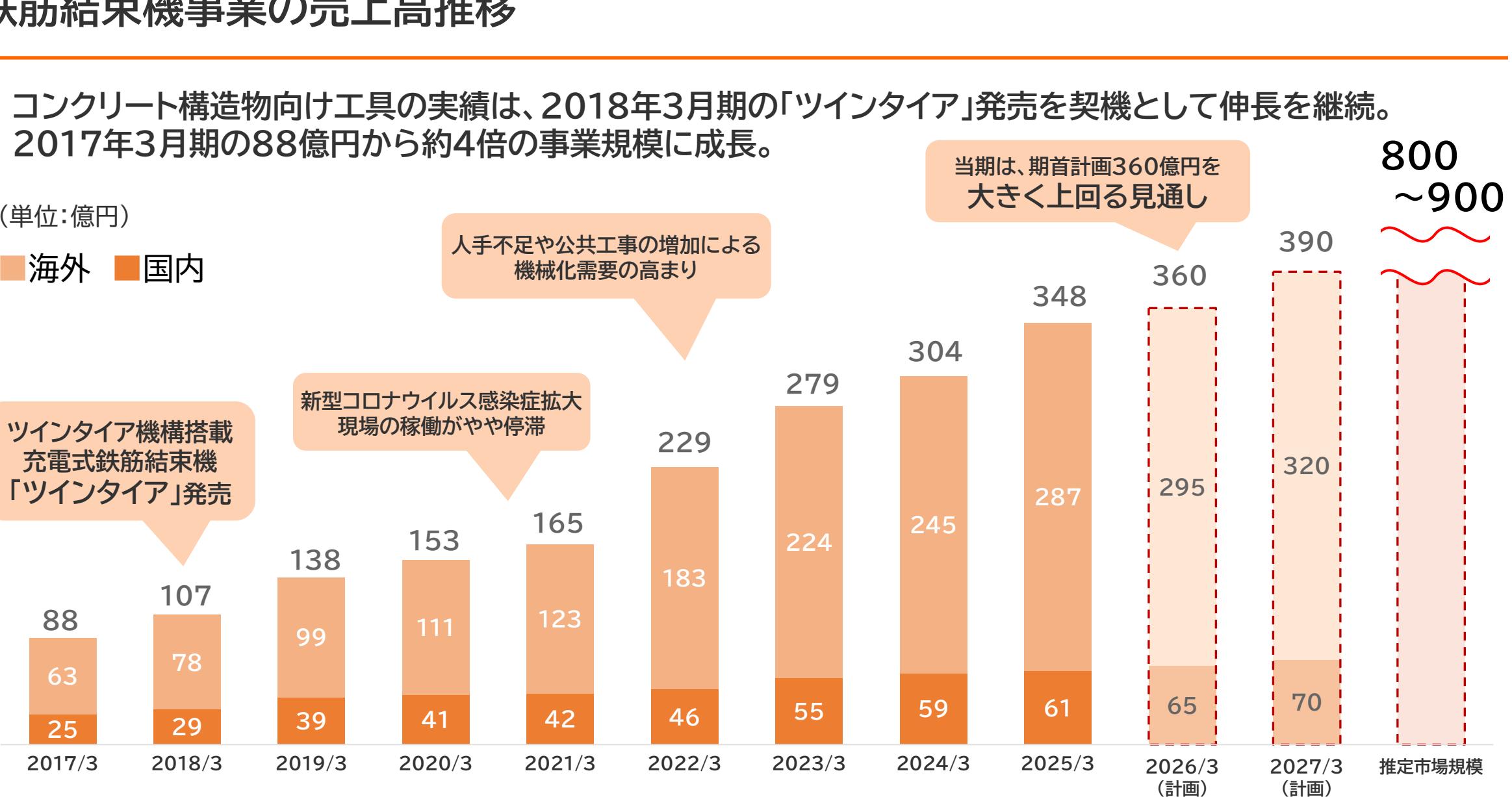
■海外 ■国内

ツインタイア機構搭載
充電式鉄筋結束機
「ツインタイア」発売

人手不足や公共工事の増加による
機械化需要の高まり

新型コロナウイルス感染症拡大
現場の稼働がやや停滞

当期は、期首計画360億円を
大きく上回る見通し



事業構造の変化(売上高の規模と構成比)

- 全社売上高に占めるインダストリアル機器部門の割合が増加しました。
- コンクリート構造物向け工具(主に鉄筋結束機)は全社売上高の約4割を占める事業になりました。

2018年3月期

ツインタイヤ機構搭載
充電式鉄筋結束機「ツインタイヤ」発売



オフィス
33%

HCR
5%

681億円

コンクリート
構造物向け工具
16%

インダストリアル
62%

2025年3月期

HCR
4%

918億円

オフィス
24%

インダストリアル
72%

コンクリート
構造物向け工具
38%



事業構造の変化(セグメント利益の規模と構成比)

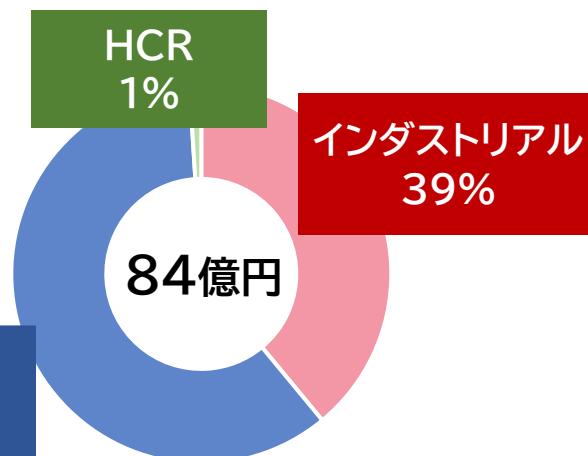
■ 2018年3月期(2017年11月)の充電式鉄筋結束機「ツインタイア」発売を契機として、インダストリアル機器部門が収益を支える柱に成長しました。

2018年3月期

ツインタイア機構搭載
充電式鉄筋結束機「ツインタイア」発売



オフィス
60%



2025年3月期

オフィス
24%

189億円

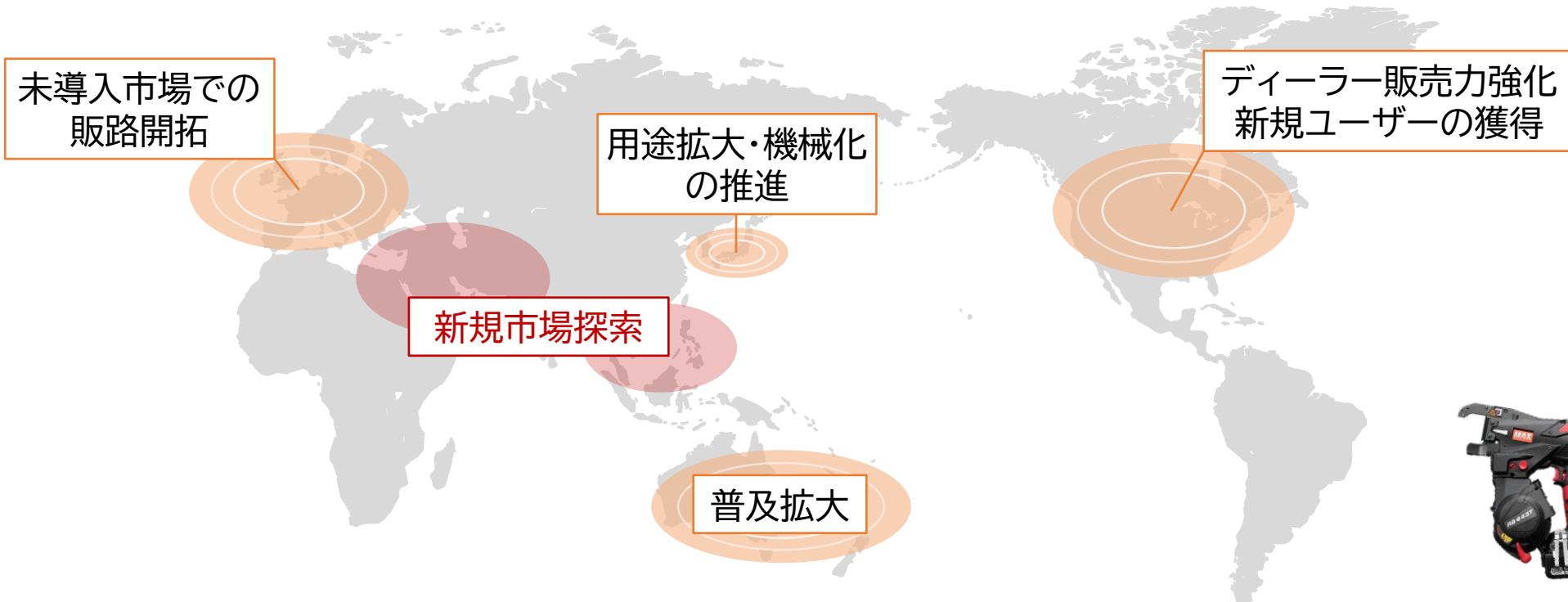
インダストリアル
76%



鉄筋結束機事業の成長戦略

重点方針

製品等の競争優位性を強化しつつ、未導入市場における販路とユーザーの開拓を推進する



活動方針

日本

用途拡大
(建築・土木)

ASEAN・中東 オセアニア

新規市場探索・
普及拡大

欧州

未導入市場での
販路開拓

米国

ディーラー育成
新規ユーザーの獲得

生産

消耗品の生産
増強投資を継続

開発

製品ラインアップ
の拡充

研究開発中製品 自律移動結束ロボット

社会課題

人手不足の解消や現場作業の効率化



コア技術

鉄筋結束技術



新規獲得技術

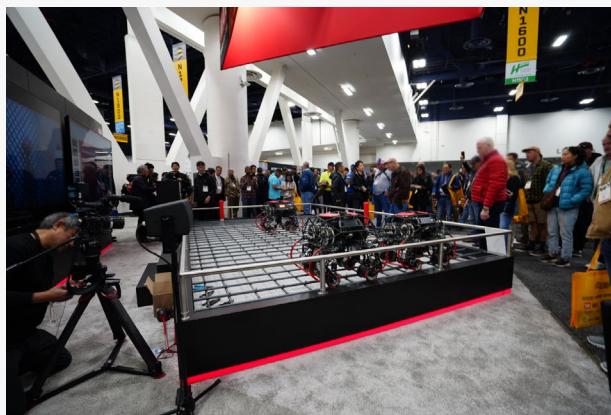
ロボット化

自律移動結束ロボット (Autonomous Mobile Tying Robot)

鉄筋の床面結束の現場にて、ロボットが自ら最適なルートを生成し、指定エリアを巡回して鉄筋を結束。
障害物を捉えると、即座に新しいルートを再生成しながら進む適応力を備えています。さらに、管制システムの群制御によって、複数台の連携も可能。

米国ラスベガス開催

世界最大級のコンクリート建設業界展示会「World of Concrete」に出展(2025年1月)



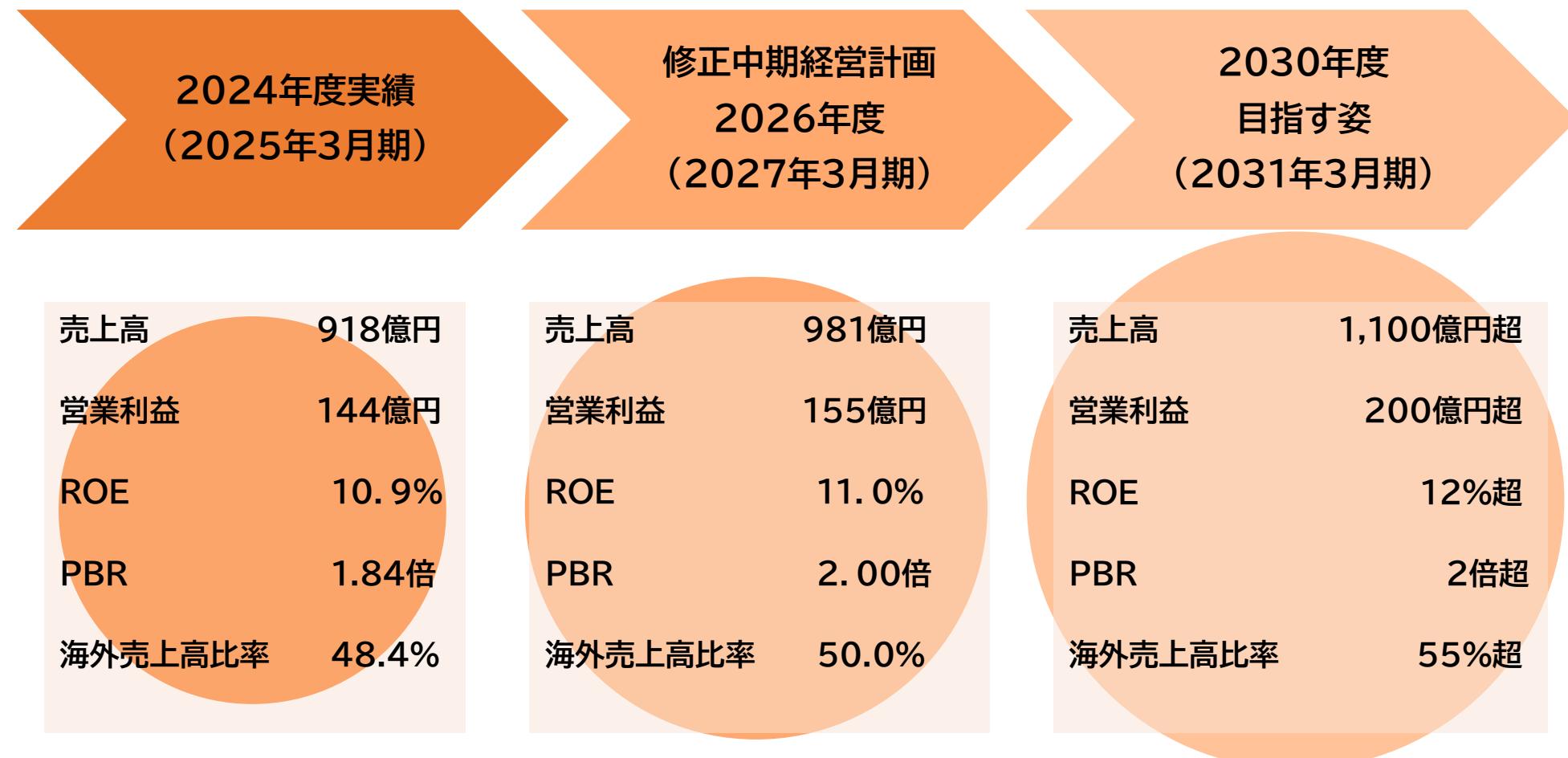
出展の様子はこちらからご覧いただけます <https://youtu.be/ncjNYAifwTo>



3.中期経営計画

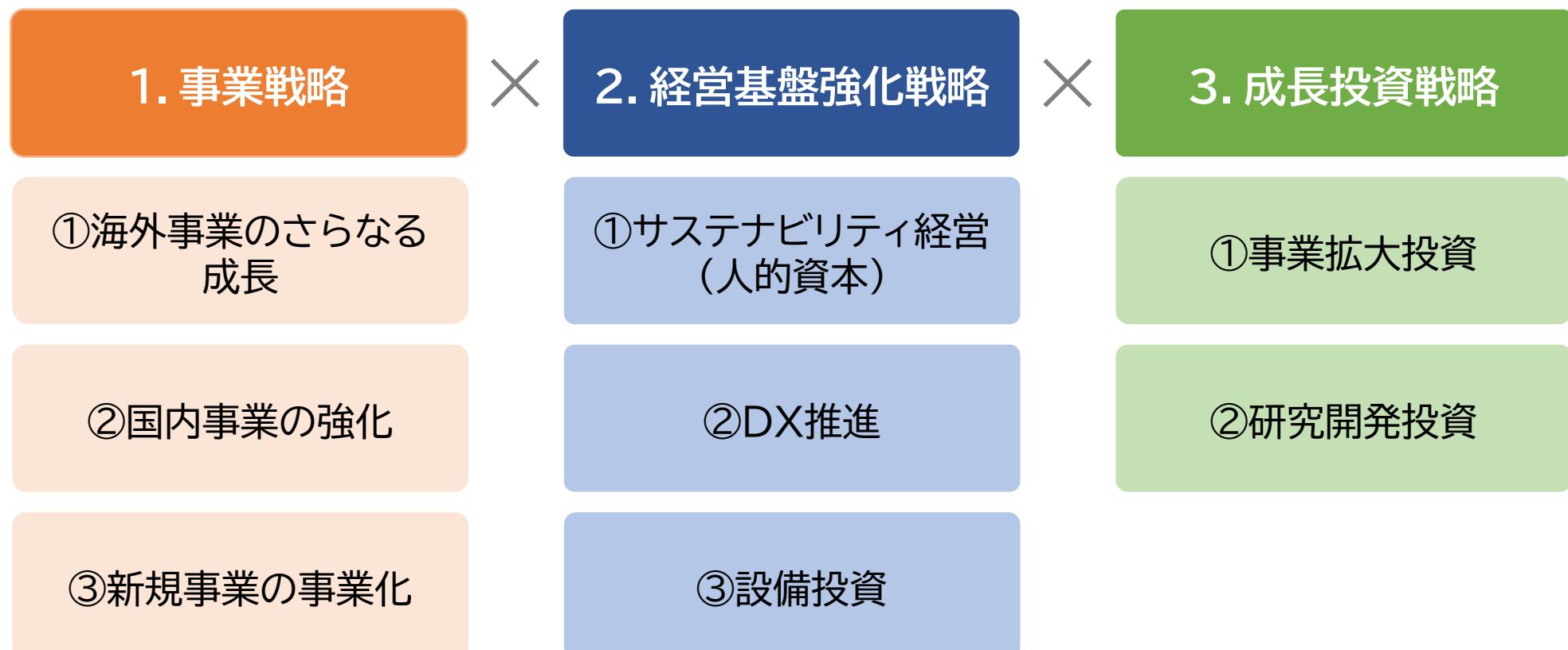
2030年度に目指す姿

2030年度に向けて事業ポートフォリオを転換し続け、
持続的な株主価値・企業価値の向上を目指します。



未来を創る

– 事業収益力と資本収益性の向上により、企業価値の高いマックスを創る –



キャッシュフローアロケーション

キャッシュイン

営業CF (研究開発費・ DX投資 控除前) 540億円※
2025年3月期 実績 193億円
必要に応じた 手元資金の活用

キャッシュアウト

経営基盤強化投資 (設備投資+DX投資) 120億円程度※	2025年3月期 実績 30億円	<ul style="list-style-type: none">新製品にかかる生産設備、鉄筋結束機の消耗品「タイワイヤ」の増産設備への投資全社統一のデジタル基盤の導入等
研究開発費投資 140億円程度※	2025年3月期 実績 43億円	<ul style="list-style-type: none">新規製品に関連する研究開発全般既存製品群の製品能力向上に向けた研究
事業拡大投資 (M&Aを含む) 120億円程度※	2025年3月期 実績 —	<ul style="list-style-type: none">M&Aを含めた事業拡大に資する投資を検討中
新配当政策に基づく配当 140億円程度※	2025年3月期 実績 46億円	<ul style="list-style-type: none">年間配当金101円、総額46億円の配当を実施
機動的な自社株取得	2025年3月期 実績 23億円	<ul style="list-style-type: none">株主還元の充実及び資本効率の向上に加え、2024年11月実施の株式の売出しに伴う株式の需給への影響緩和の観点から、自社株取得を実施

成長
投資

株主
還元

※2025~2027年3月期 中期経営計画値

4.2026年3月期上期(中間期)実績と2026年3月期業績見通し

2026年3月期上期(中間期) 実績

■為替レート

当期(中間期) 1ドル 146.20円 / 1ユーロ 166.61円

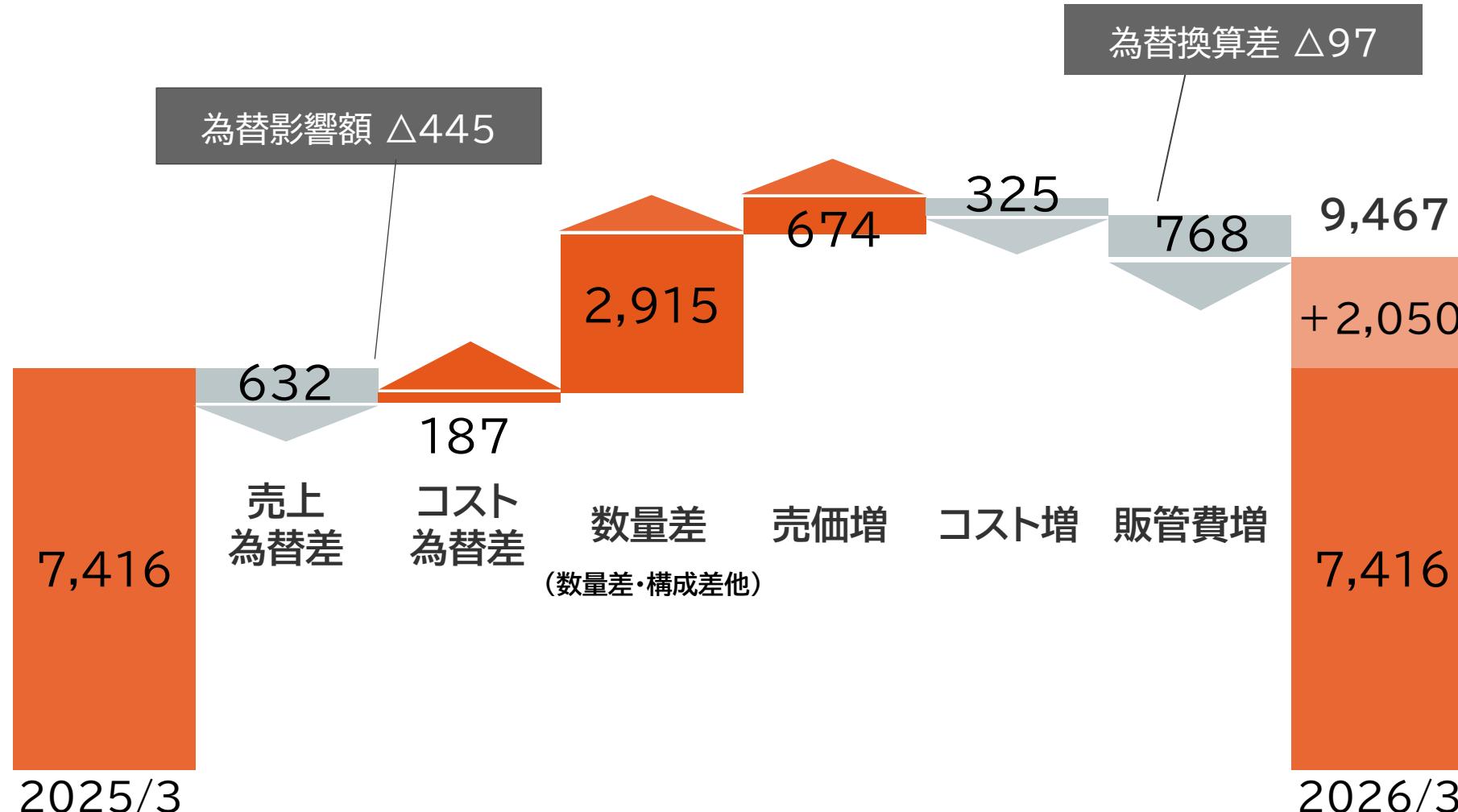
前期(中間期) 1ドル 153.93円 / 1ユーロ 166.49円

(単位:百万円、%)

	2026年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	増減率
売上高	48,688	44,881	+8.5
営業利益	9,467	7,416	+27.6
同率	19.4	16.5	
経常利益	9,755	7,150	+36.4
同率	20.0	15.9	
親会社株主に帰属する中間純利益	7,288	5,453	+33.7
同率	15.0	12.2	
1株当たり中間純利益(円)	159.34	117.22	—

- 上期(中間期)として売上高、各利益ともに過去最高を更新
- 鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の売上高は209億円(前年同期比+19%)。年間計画360億円に対する進捗率は58%と好調。
- 欧米での鉄筋結束機事業を中心とする販売数量の増加が増益に大きく寄与。
- 米国関税対応として、米国向け製品全般の値上げを実施。

2026年3月期上期(中期) 営業利益の増減要因



2026年3月期 全社計画(2025年10月31日上方修正)

■想定為替レート(3Q以降)

1ドル	145.00円
1ユーロ	165.00円

(単位:百万円、%)

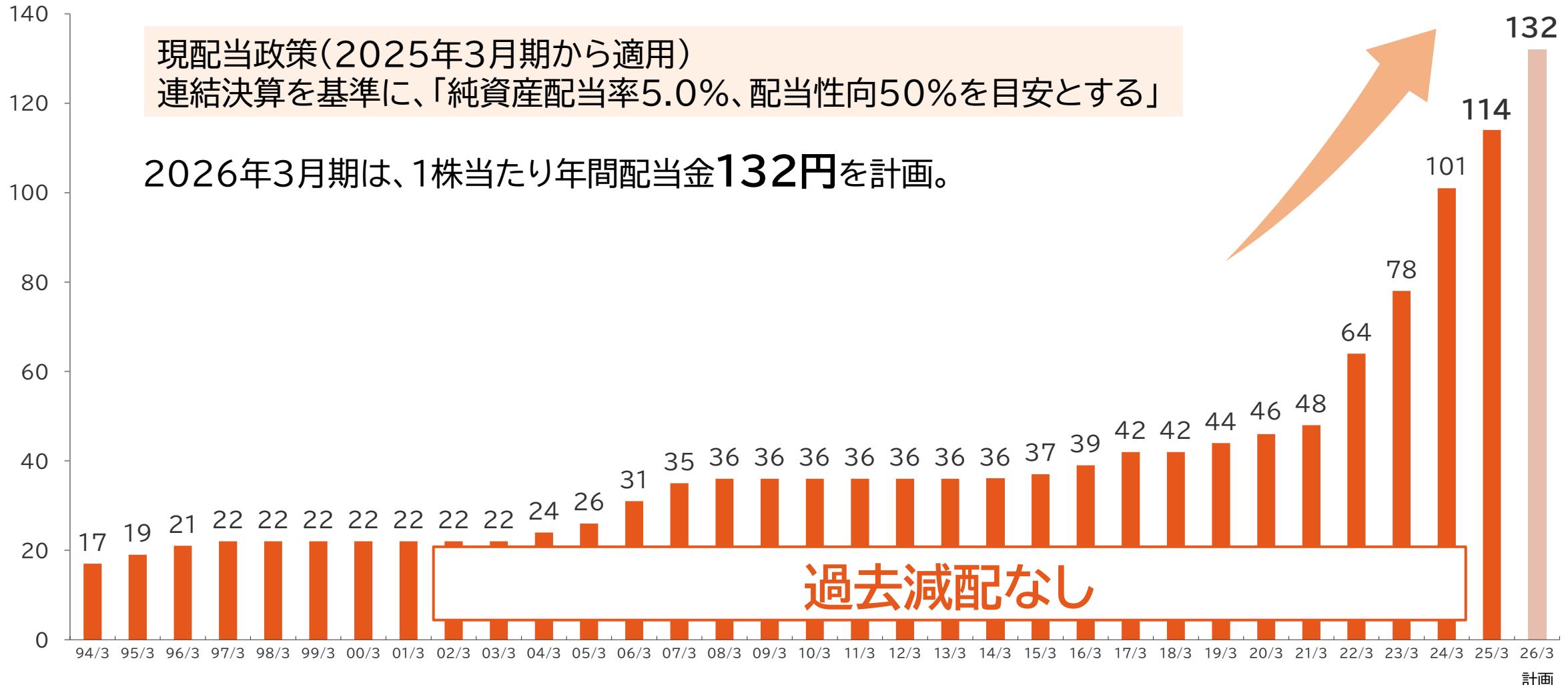
	2026年3月期 計画	2025年3月期 実績	増減率
売上高	97,700	91,839	+6.4
営業利益	17,200	14,468	+18.9
同率	17.6	15.8	
経常利益	17,500	14,809	+18.2
同率	17.9	16.1	
親会社株主に帰属する当期純利益	13,200	11,225	+17.6
同率	13.5	12.2	
1株当たり当期純利益(円)	290.90	241.81	
ROE	12.3	10.9	

- 業績の堅調な推移を踏まえ、通期計画を上方修正
- 4期連続で売上高、各利益ともに過去最高を更新する見通し
- この見通しは2027年3月期中期経営計画目標に対して、各利益、ROEを1期前倒しで達成・超過できる見通し
- 前期(2025年3月期)から18円増配の1株当たり年間配当金132円を予定

5. 株主還元

配当政策 1株当たり配当金

(単位:円)



資本政策の実践(自己株式の取得)

中期経営計画(2025～2027年3月期)期間における資本政策の実践
株主還元の充実及び資本効率の向上のため、自己株式の取得を進めています。

＜自己株式の取得実績＞

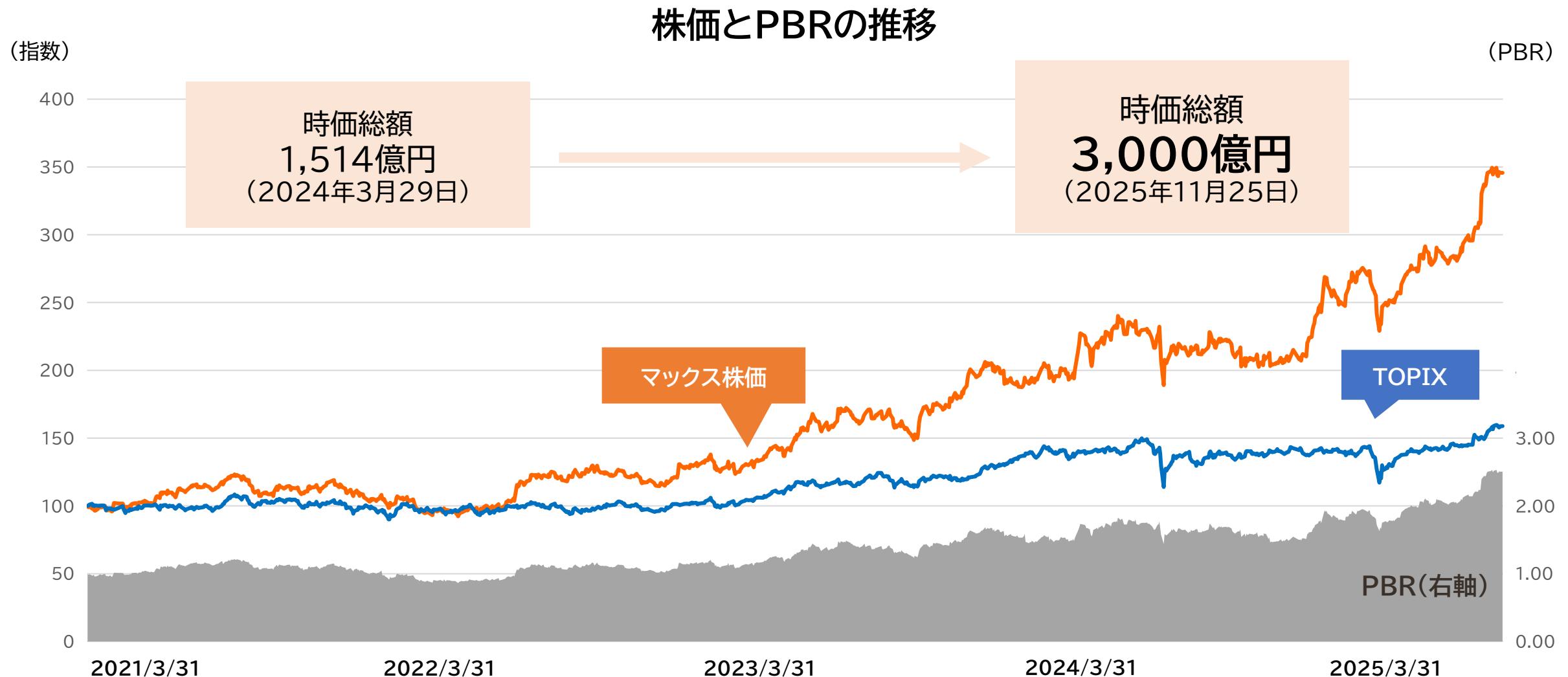
	2025年1月～4月	2025年8月～11月
取得株式数	589,100株	996,300株
取得価額	約24億円	約55億円

＜その他 現中期経営計画における資本政策の実践状況＞

2024年11月：株式の売出し(1,437,200株 オーバーアロットメントによる売出し含む)

2024年12月：自己株式の消却(1,000,000株)

株価推移

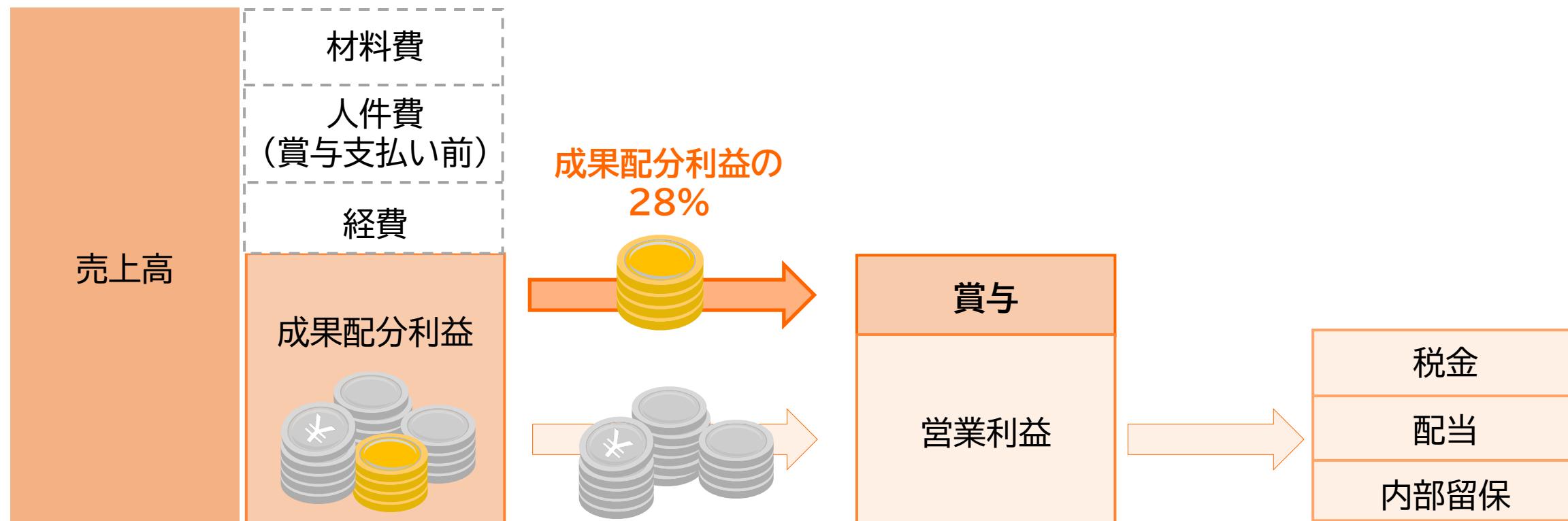


※株価及びTOPIXは、2021年3月31日を100として指数化。

6. サステナビリティの取り組み

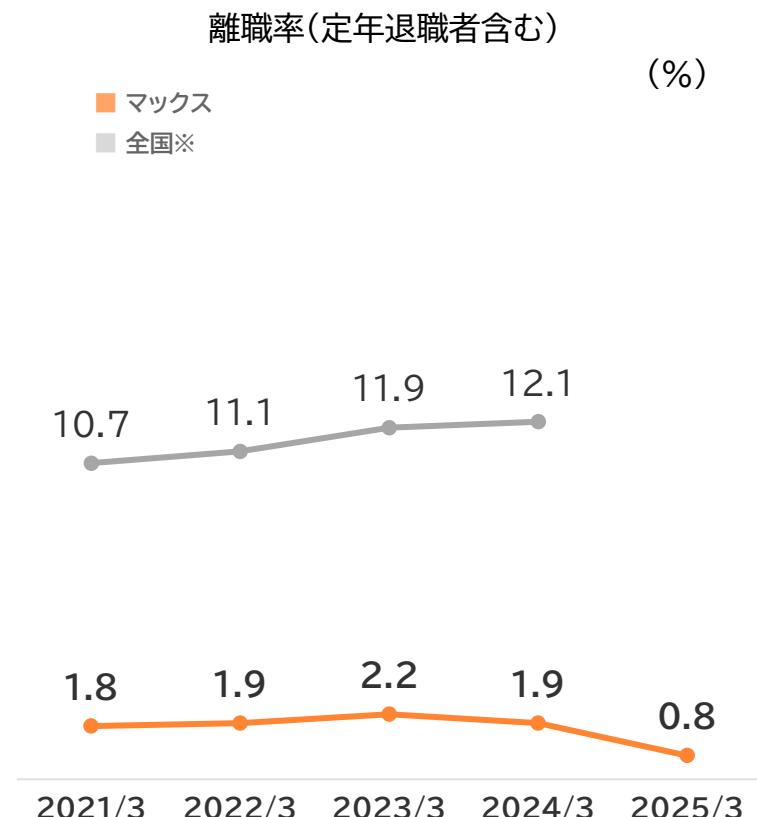
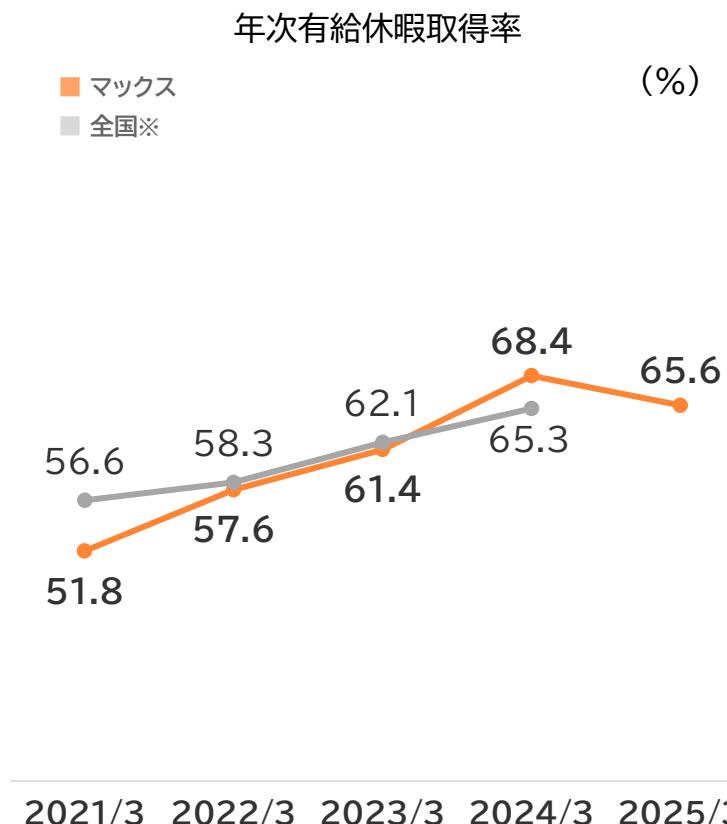
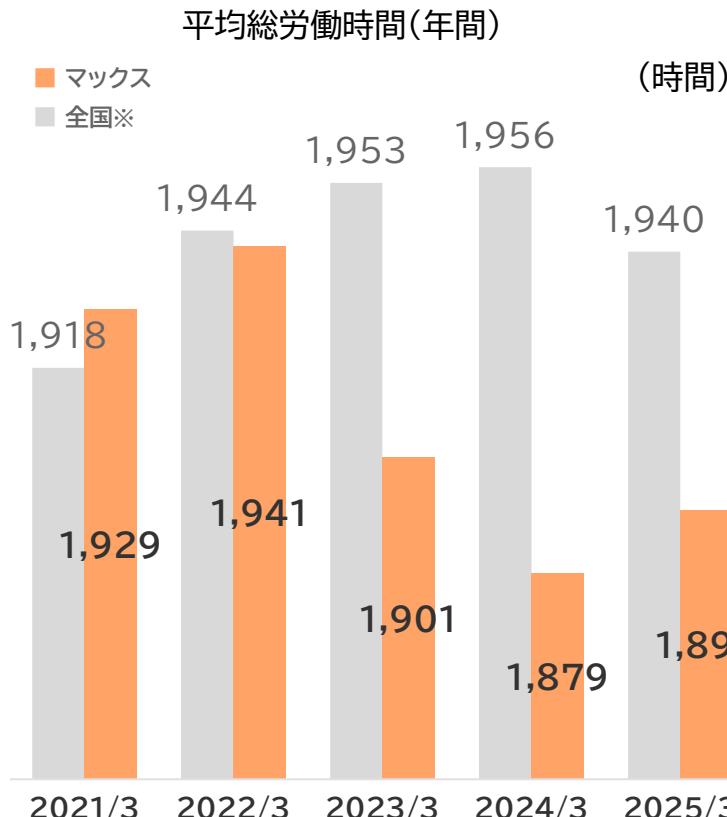
人を活かす企業の実現

- 社員の意欲と一体感を高める成果配分制度
- 賞与の決定方法は、連結営業利益額をもとに算出した「成果配分利益」の28%を役員及び社員賞与の総原資とし、社内規程に基づく計算により、各人に還元しています。



人を活かす企業の実現

働きやすく、働きがいのある会社を目指しています。



※ 厚生労働省「毎月勤労統計調査」における総労働時間の年度単位の合計値
※ 集計対象は、一般労働者、調査産業計、常用雇用労働者5人以上

※ 厚生労働省「就労条件総合調査」年次有給休暇 各年の調査計

※ 厚生労働省「雇用動向調査」離職率 各年の一般労働者計

サステナビリティの取り組み

身体的負担の軽減・人手不足への対応

「ツインタイア ウォーカーモデル」

マックスは1993年に世界初の充電式鉄筋結束機を発売した業界のパイオニアです。

2020年に発売した、「ツインタイア ウォーカーモデル」は、立ち姿勢のまま歩きながら結束作業が行うことができます。身体的負担の軽減と作業時間の短縮を同時に実現する製品であるとして、国土交通省の「NETIS(新技術情報提供システム)」に登録されました。



人手不足への対応

工具のサブスクリプション・レンタルサービス『レンツール』

マックスの子会社である(株)レンツールは、工具のサブスクリプション・レンタルサービス『レンツール』を展開しています。社内ビジネスコンテストから誕生したサービスで、ユーザーが状況に応じてサブスクリプションまたはレンタルのどちらかを選び、工具を使用することができます。

「若手大工の離職率が高い」「新たな大工のなり手が不足している」という社会課題を解決し、“住宅市場が活気づき、いい街づくりが加速する社会の実現”を目指し、取り組んでいきます。



參考資料

主要業績履歴

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期(計画)
売上高	66,967	68,138	70,118	69,671	64,029	73,958	84,316	86,638	91,839	97,700
(対前年増減率)	0.7%	1.7%	2.9%	-0.6%	-8.1%	15.5%	14.0%	2.8%	6.0%	6.4%
営業利益	6,323	6,139	7,150	7,586	6,685	7,498	9,926	12,601	14,468	17,200
(対前年増減率)	7.5%	-2.9%	16.5%	6.1%	-11.9%	12.2%	32.4%	26.9%	14.8%	18.9%
経常利益	6,455	6,076	7,253	7,405	6,826	8,282	10,510	13,717	14,809	17,500
(対前年増減率)	11.4%	-5.9%	19.4%	2.1%	-7.8%	21.3%	26.9%	30.5%	8.0%	18.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,726	4,654	5,064	5,510	5,153	6,090	7,619	10,435	11,225	13,200
(対前年増減率)	34.6%	-1.5%	8.8%	8.8%	-6.5%	18.2%	25.1%	37.0%	7.6%	17.6%
1株当たり純利益(円)	95.93	94.46	102.92	112.67	105.80	128.40	161.07	222.57	241.81	290.90
営業利益率	9.4%	9.0%	10.2%	10.9%	10.4%	10.1%	11.8%	14.5%	15.8%	17.6%
当期純利益率	7.1%	6.8%	7.2%	7.9%	8.0%	8.2%	9.0%	12.0%	12.2%	13.5%
ROE	7.2%	6.7%	7.0%	7.4%	6.7%	7.5%	8.9%	11.1%	10.9%	12.3%

海外地域別売上高推移

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
北米	5,574	5,860	7,136	8,005	8,723	11,895	14,401	16,479	18,626
(対前年増減率)	-2.1%	5.1%	21.8%	12.2%	9.0%	36.4%	21.1%	14.4%	13.0%
欧州	5,698	6,874	7,536	7,774	8,136	11,655	13,839	14,081	16,153
(対前年増減率)	3.5%	20.6%	9.6%	3.2%	4.7%	43.3%	18.7%	1.7%	14.7%
アジア他	8,438	8,518	8,398	7,745	5,942	7,364	9,874	9,308	9,701
(対前年増減率)	-5.1%	1.1%	-1.4%	-7.8%	-23.3%	23.9%	34.1%	-5.7%	4.2%
海外売上高合計	19,710	21,252	23,070	23,524	22,801	30,914	38,115	39,869	44,480
(対前年増減率)	-1.9%	7.8%	8.6%	2.0%	-3.1%	35.6%	23.3%	4.6%	11.6%
海外売上高比率	29.4%	31.2%	32.9%	33.8%	35.6%	41.8%	45.2%	46.0%	48.4%

事業概要 インダストリアル機器部門 機工品事業

■ 釘打機をはじめとした木造建築物向け工具、鉄筋結束機などのコンクリート構造物向け工具を通じて現場の省力化・効率化に貢献しています。

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ

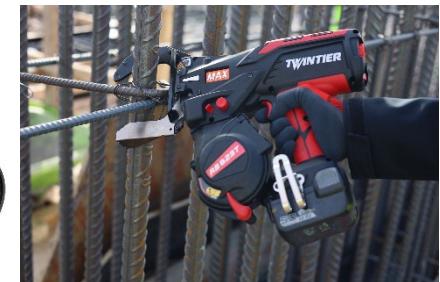


充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



事業概要 インダストリアル機器部門 AF(農業・食品)事業

■ 農業・食品分野で使用する結束機器、充電式剪定はさみなどを提供し、作業の効率化に貢献しています。

誘引結束機「テープナー」



充電式剪定はさみ「ザクリオ」



袋口結束機「コニクリッパ」



野菜結束機「おびまる」



■ 浴室暖房・換気・乾燥機や24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適な環境づくりを提案しています。

浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」



全熱交換型24時間換気システム



事業概要 オフィス機器部門 オフィス機器事業

■ 文房具や事務機械などの展開で新しいオフィスワークをサポートしています。

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ

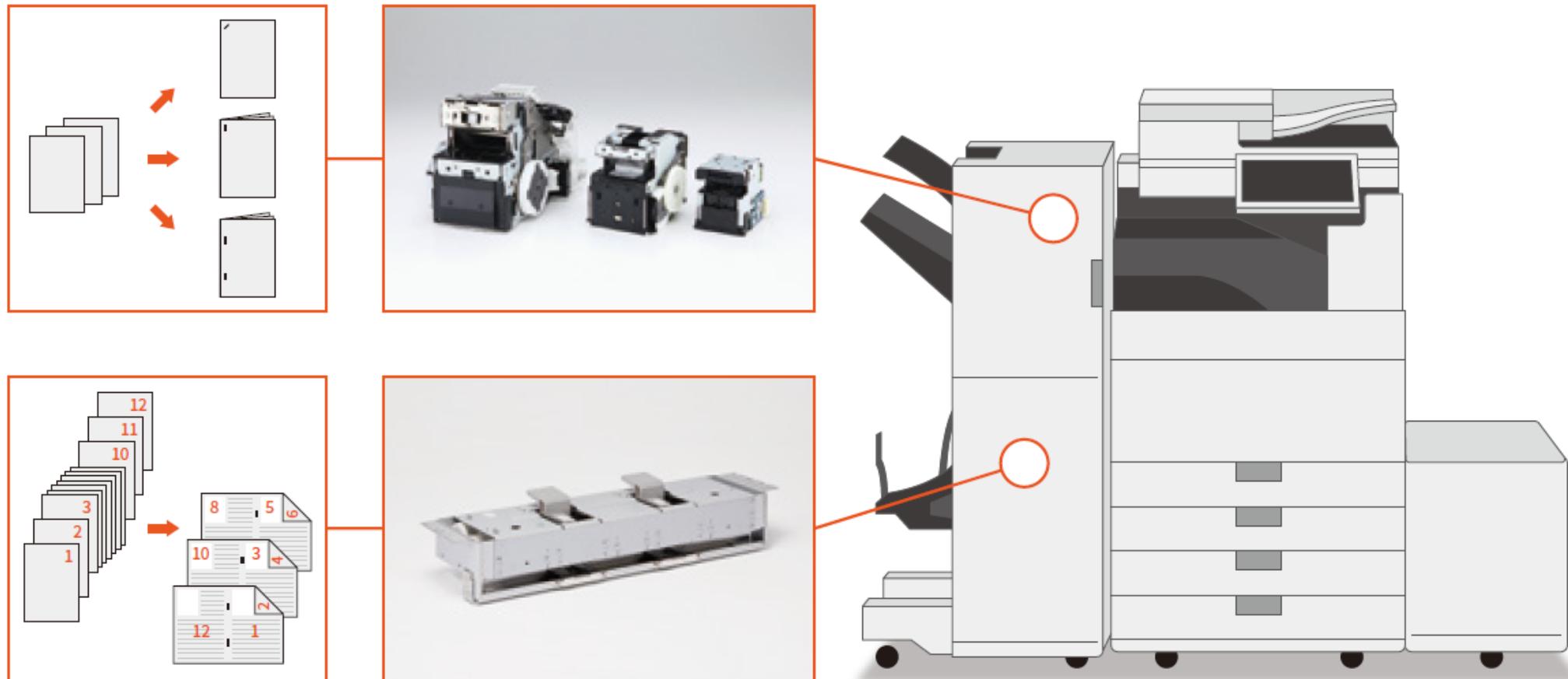


筆耕



事業概要 オフィス機器部門 オートステープラ事業

■ 複合機に搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。



簡易製本市場向けの「中とじ用オートステープラ」

事業概要 HCR(Homecare&Rehabilitation)事業 カワムラサイクル

■ 車いすを中心とした介護・福祉機器の供給を通じて、健康で快適な暮らしを支援しています。

機能性車いす「ウェイビットルー」



多機能車いす「モダンシリーズ」

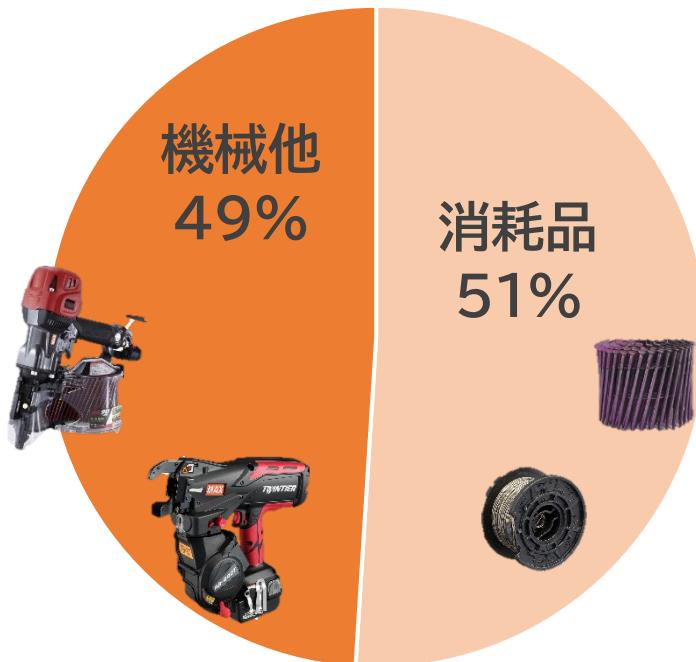


軽量車いす「ふわりす」



セグメント別消耗品売上高比率(2025年3月期実績)

インダストリアル機器部門

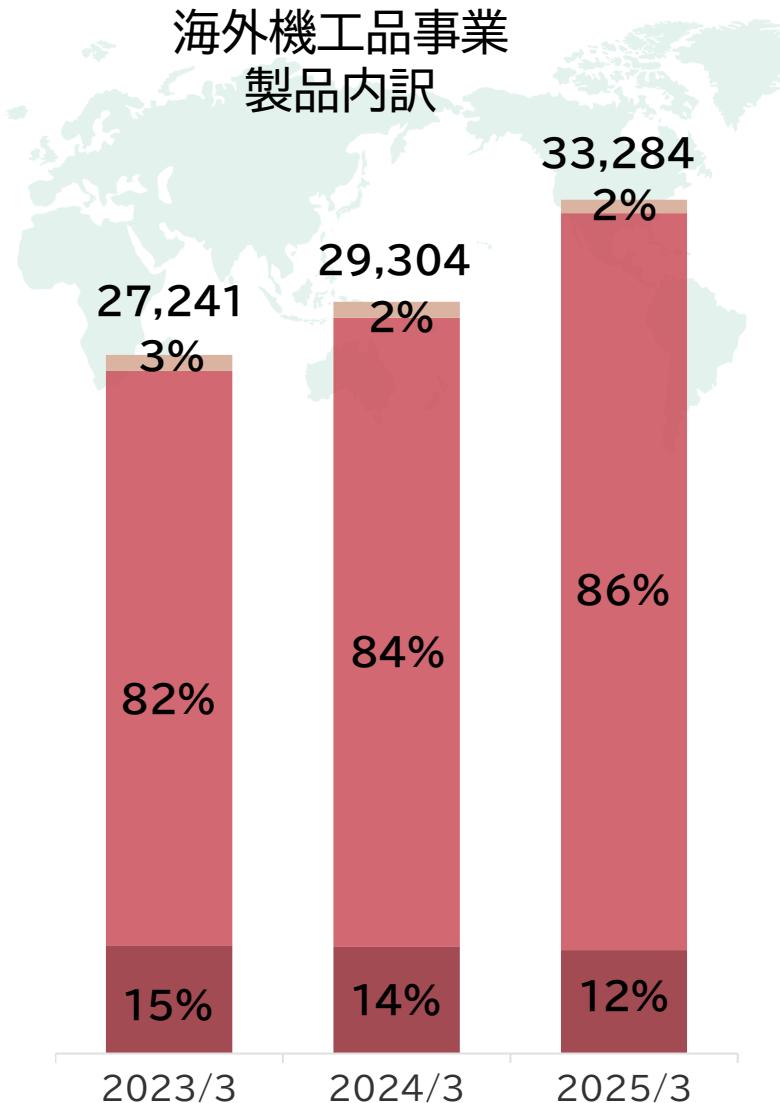
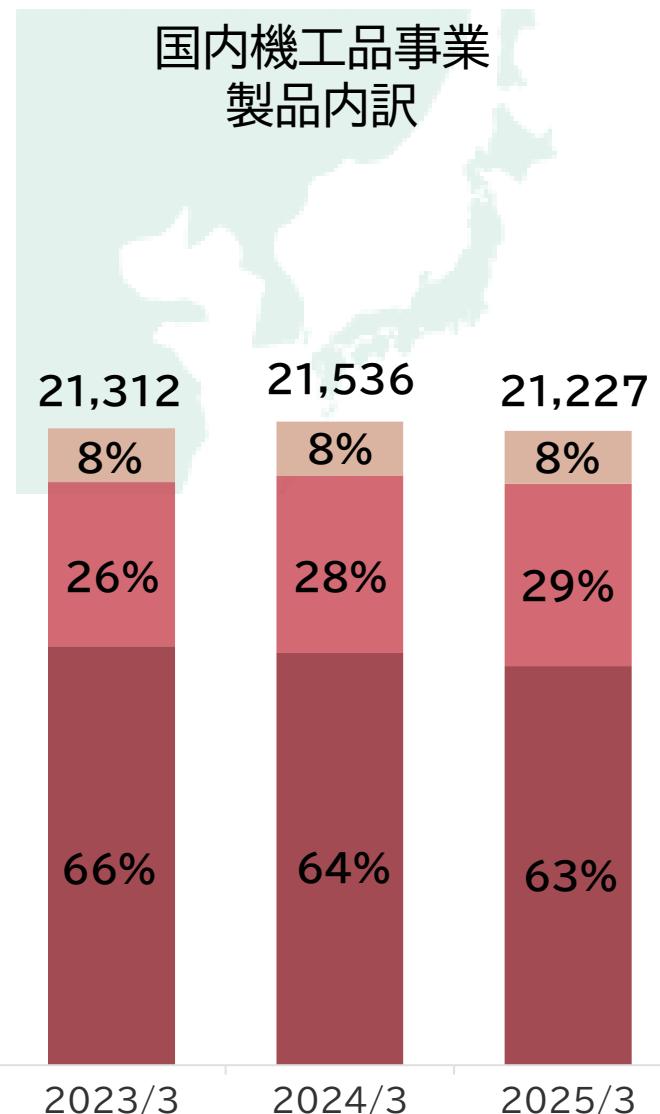


オフィス機器部門

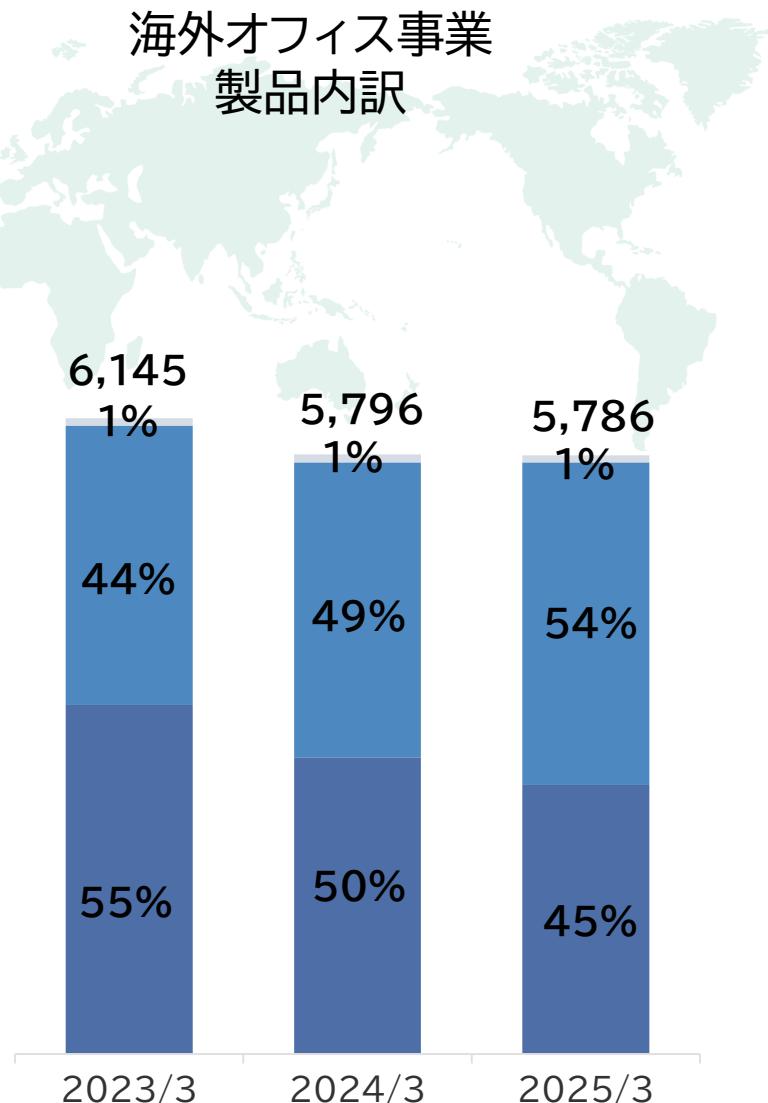
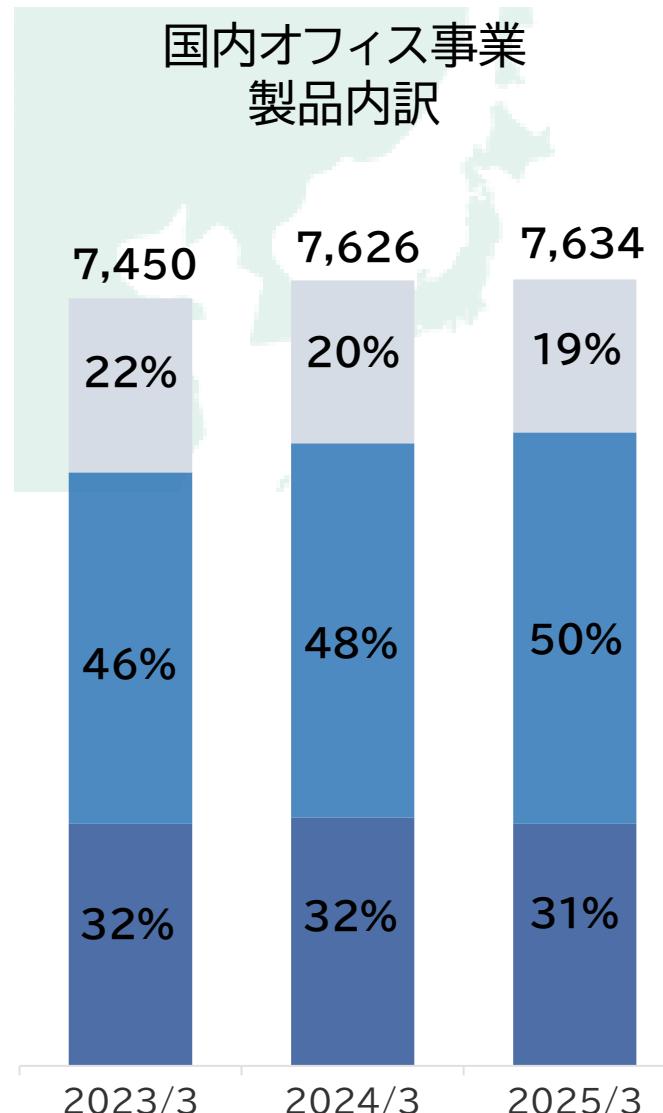


※消耗品とは、ビジネスモデルにおける消耗品を示しています

インダストリアル機器部門 国内・海外機工品事業製品内訳



オフィス機器部門 国内・海外オフィス事業製品内訳



その他
文字表示機器
文具関連製品

マックスの生産体制

お客様が必要な時に必要なだけ供給できるフレキシブルな生産

国内(玉村、藤岡、吉井、倉賀野、常磐)の5拠点と海外4拠点(タイ、マレーシア、中国の深圳、蘇州)、カワムラサイクル2拠点(神戸、廈門)にて、製品を生産し、世界中のお客様に供給しています。

マザー工場「玉村工場」 1988年操業開始



住環境機器の生産物流機能を統合「吉井工場」
2007年操業開始



グローバル供給体制の確立「タイ工場」
2005年操業開始



世界屈指の消耗品工場「藤岡工場」
1963年操業開始



タイ タイワイヤ工場 2018年操業開始/2023年増築



鉄筋結束機事業ラインアップ

充電式鉄筋結束機「ツインタイア」シリーズ

〈機械〉※国内での発売年を記載しています。



スタンダードモデル
2023年発売
(フルモデルチェンジ)



大径モデル
2025年発売
(フルモデルチェンジ)



特大径モデル
2025年発売

小 → 大
対象鉄筋径



IoTモデル
2024年発売



ウォーカーモデル
2020年発売

関連製品



メッシュ筋カッタ
2025年発売

〈消耗品〉



専用結束ワイヤ「タイワイヤ」

〈生産拠点〉

機械

国内・海外向け共に玉村工場(群馬県)

消耗品

国内向け 藤岡工場(群馬県)

海外向け タイ工場

統合報告書2025の発行

個人投資家の方々を含むステークホルダーの皆さんに、
当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書を発行しています。

統合報告書2025の主なトピック

研究開発中：自律移動結束ロボットの開発秘話

当社は、「世の中に新しい価値を提供し続ける」ために、現場の事実から顧客の真のニーズをつかみ、解決に向けて取り組むことで、独創的な技術を生み出してきました。これまでの当社にはなかった高知能化技術を取り入れた、自律移動結束ロボットの開発秘話をインタビュー形式で紹介しています。

事業を通じた社会課題の解決

当社は、社会課題の解決に向けた製品・サービスの開発や、気候変動への対応を含む環境負荷低減の取り組みを推進しています。これらの取り組みの一部として、鉄筋結束機「ツインタイア」による鉄使用量の削減、吉井拠点での緑地整備の活動などを紹介しています。

「統合報告書2025」は当社Webサイトをご覧ください。

<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/data/integrated/>



マックスWEBサイトのご紹介

製品情報や決算説明会資料等を掲載しておりますので、是非ご覧ください



The screenshot shows the homepage of the MAX Co., Ltd. website. At the top, there is a navigation bar with links for 'MAX' (highlighted in orange), '製品' (Products), 'サポート' (Support), '会社情報' (Company Information), 'サステナビリティ' (Sustainability), '株主・投資家情報' (Shareholder and Investor Information), and '採用情報' (Recruitment Information). There are also buttons for 'Global' (日本語), 'English' (English), a search icon, and 'マイページ' (My Page) and 'お問い合わせ' (Contact Us) buttons. The main content area features a large blue MAX stapler on the left, a central graphic illustrating connectivity between a smartphone, a laptop, and a MAX device, and a black MAX power tool on the right. A large text overlay in the center reads '世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする' (Make life and work easier and more fun for everyone around the world). At the bottom, there is a QR code and a link to the website: <https://www.max-ltd.co.jp/>.

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular box.

MAX

The tagline is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned below the MAX logo, with two orange wavy lines extending from the sides of the text.

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきください。